2024年10月改訂（使用上の注意の改訂：＿＿部）

第②類医薬品

服用の前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう保管してください。

痛み・熱にイブプロフェン配合 非ピリン系解熱鎮痛薬 スペジオンIP

スペジオンIPは、熱や痛み、炎症を速く抑えるイブプロフェンを配合しています。イブプロフェンの鎮痛効果を高めるアリルイソプロピルアセチル尿素や無水カフェインを配合した小粒で服用しやすい錠剤です。

使用上の注意

☒してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください
   （1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   （2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
   （3）15才未満の小児。
   （4）出産予定日12週以内の妊婦。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
   他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください（眠気等があらわれることがあります）
4. 服用前後は飲酒しないでください
5. 長期連続して服用しないでください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
   （1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。
   （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
   （3）授乳中の人。
   （4）高齢者。
   （5）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   （6）次の診断を受けた人。
   心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
   （7）次の病気にかかったことのある人。
   胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。

（裏面へ）

症状の名称	症　　状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている）
心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
便秘、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】

○頭痛・歯痛・生理痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・腰痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
○悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

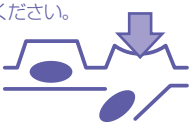
次の量をなるべく空腹時をさけて水又はぬるま湯で服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年　　令	1回量	服用回数
成人（15才以上）	2錠	1日3回を限度
15才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉定められた用法・用量を厳守すること。

[錠剤のとり出し方]

錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。



（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります）

【成分・分量】　2錠中

成　　分	分　量	は　た　ら　き
イブプロフェン	150mg	熱や痛みをおさえます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	鎮痛成分のはたらきを助け痛みをおさえます。
無水カフェイン	80mg	

添加物として結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、乳糖、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わるのを防ぐため）
(4) 使用期限（外箱に記載）を過ぎた製品は服用しないでください。

このお薬についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記へお願いいたします。

奥田製薬株式会社　お客様相談窓口
電話 06-6351-2100（代表）　受付時間 9：00 ～ 17：00（土日祝日を除く）

製造販売元
KUDA 奥田製薬株式会社
大阪市北区天満1丁目4番5号
https://www.okudaseiyaku.co.jp/